

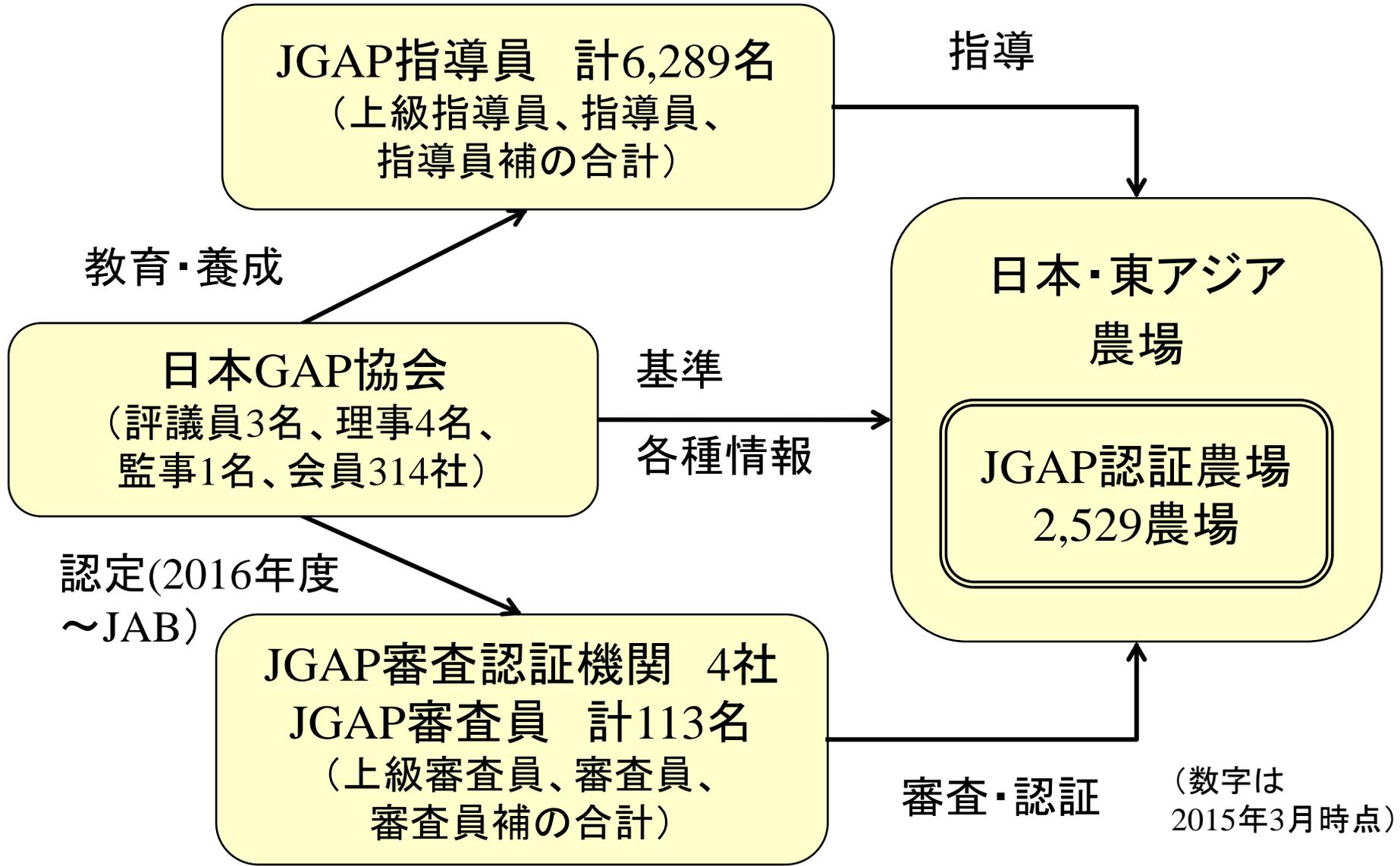
JGAPの第三者認証制度が全国に普及し始めています



生産現場からも取り組み意欲が高い！

★農業法人白書「取得したい認証」として4年連続で1位
(日本農業法人協会 2010～2013年度のアンケート調査より)

★JGAP認証農場はPL保険が無料付保できます。
(会員の農場も会員特典としてPL保険が無料付保)



| | 2008年 | 2015年 |
|------------------------|-------|--------|
| 農業生産者 | 8% | 19% |
| 都道府県の普及指導員等 | 3% | 16% |
| 農協の職員 | 8% | 18% |
| 農産物流通・小売・ 食品メーカー等 | 10% | 10% |
| 農薬・肥料・農業資材・ 資材メーカー等 | 59% | 20% |
| その他 | 12% | 16% |
| 合計人数 | 836名 | 6,289名 |

❖ 第一に現場経験

❖ 第二に研修

- ❖ 基礎研修でも、農場管理の改善方法について多くの事例・アイデアを学びます
- ❖ 現地研修やGAP産地リーダー養成研修も、ケーススタディ中心の研修であり有効です。





香港(1位)と台湾(3位)は、日本の主要な農林水産物・食品の輸出先

JGAPは、全ての取引基準のゲートウェイ(入口)に！



JGAPは
東アジアの
農業者が
取り組みやすい

GAPに取り組む農場

JGAP認証農場

JGAPは
英語版
中国語版もある

そのまま
OK!

Guideline for JGAP
Certified Producers
aiming at GLOBALG.A.P.
Certification

JGAP香港・
台湾事務所

GFSI承認で
促進したい

FDA対応
サポート文書
作成予定

対比表
追加項目

GLOBALG.A.P.認証農場

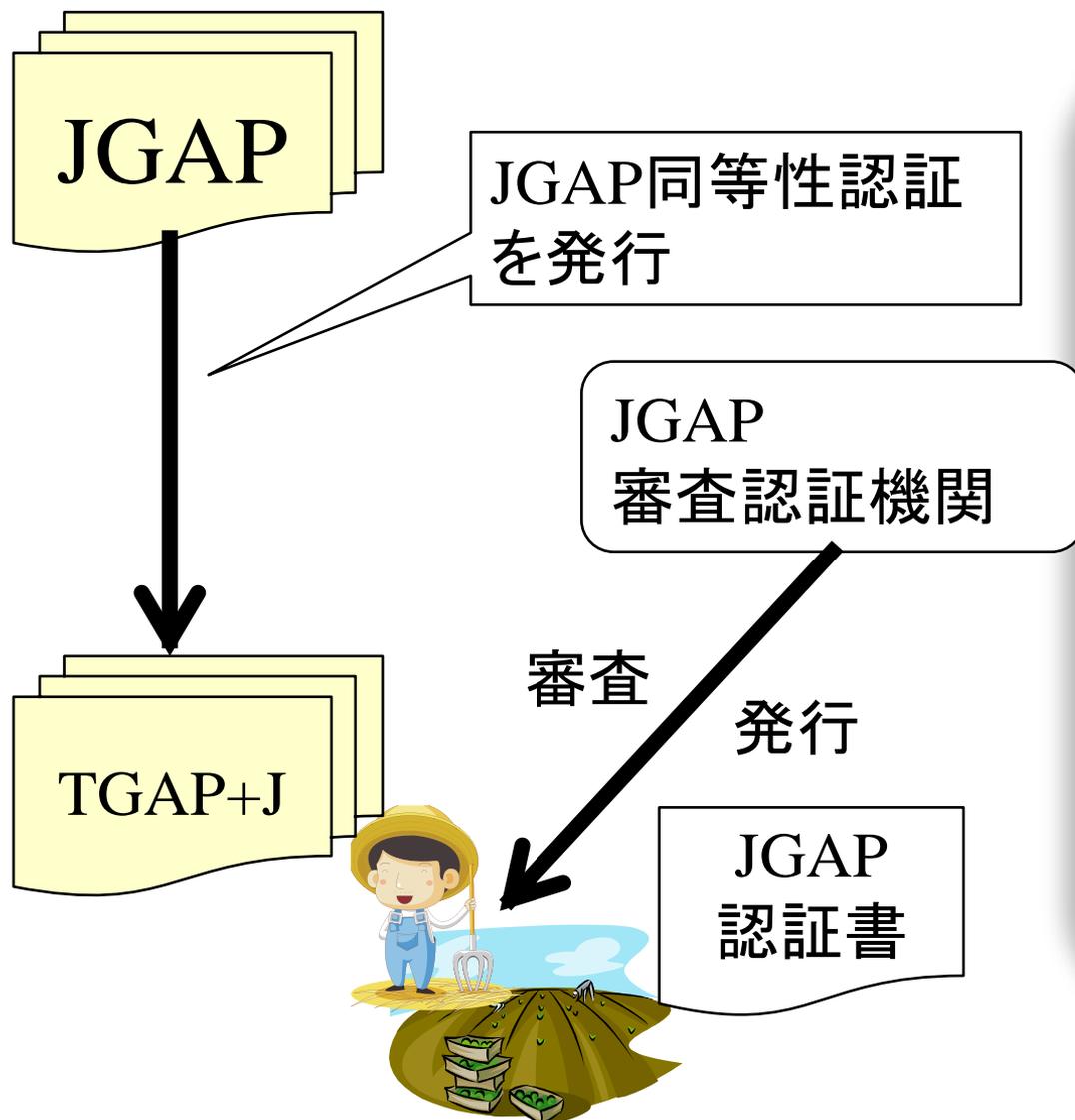
GLOBALG.A.P.認証を
要求する流通

国内・海外
の流通

独自の
要求事項が
ある流通

米国FDA
食品安全強化法
GAP 対応農場

米国内の流通企業



差異部分(+J部分)に追加で取り組むことにより、T-GAPの取り組みであってもJGAP認証を取得可能。

静岡県の農場がこれまで受けてきたT-GAPの指導の延長でJGAP認証が容易に取得できるようになります。

昨年まで

2015年 1月から

担う機能

NPO法人
日本GAP協会

jgap.jp

財団法人
日本GAP協会

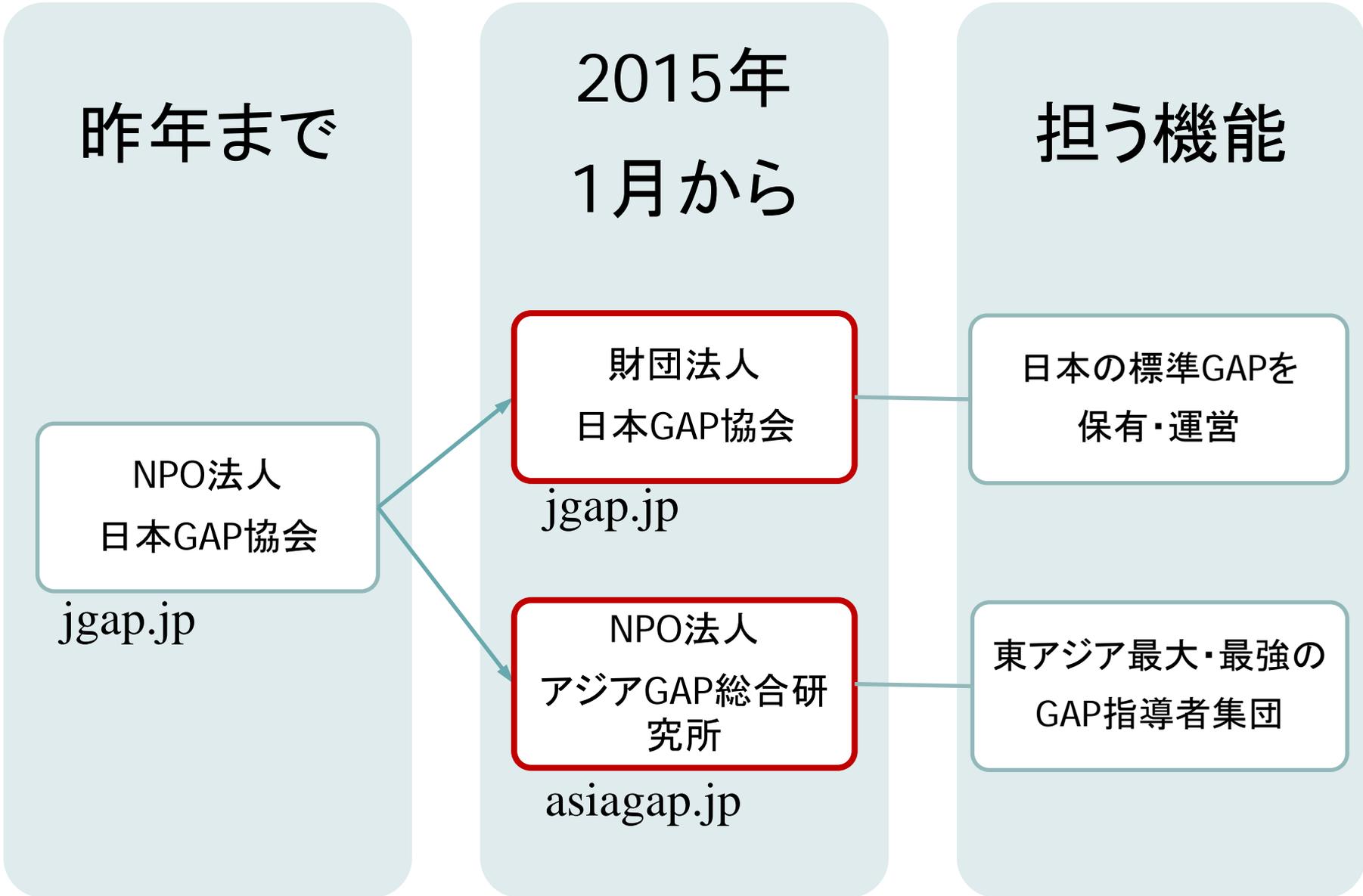
jgap.jp

NPO法人
アジアGAP総合研
究所

asiagap.jp

日本の標準GAPを
保有・運営

東アジア最大・最強の
GAP指導者集団



日本の標準GAPを保有・運営

— 導入することで農場がぐんと良くなる最高のGAPを日本から発信 —

JGAP開発と 基準間の調整

- JGAP技術委員会
- 農林水産省との調整
- GFSIとの調整
- GLOBALG.A.P.との調整
- アジア各地のGAPとの調整
- 他のGAPに対する同等性認証の管理

JGAP認証制度の管理

- 認定機関の管理
- 審査認証機関の管理
- 研修機関の管理
- 認証農場の管理
- 審査員の管理
- 指導員の管理

アドバイザーボードの 運営

- 農業界、流通業界、食品製造、外食業、行政関係、海外マーケットの関係者など、GAPの関係者を集めたアドバイザーボードを設置。
- オールジャパンで官民連携のGAP普及を実現する。

事業者(農業者・流通業者)がGAPを使いこなす支援に注力
— 東アジア最大・最強のGAP指導者集団 —

GAP指導者の育成
と現地指導

- JGAPの指導と研修
- GLOBALGAPと米国FDA-GAPの指導と研修
- その他の国内外のGAPの指導と研修
- GAP指導者育成のための自社農場の運営
- 流通企業や食品メーカーの原料産地の指導・GAP導入支援

農産物と産地の
マーケティング支援

- 農業者主導の農産物ブランド化とマーケティング支援(品質管理体制を整えるためにGAPを活用)
- 例えば、産地リレーを伴う大規模な農産物ブランドづくりとマーケティング支援
- 例えば、その地域に限定された特産品のブランド化とマーケティング支援

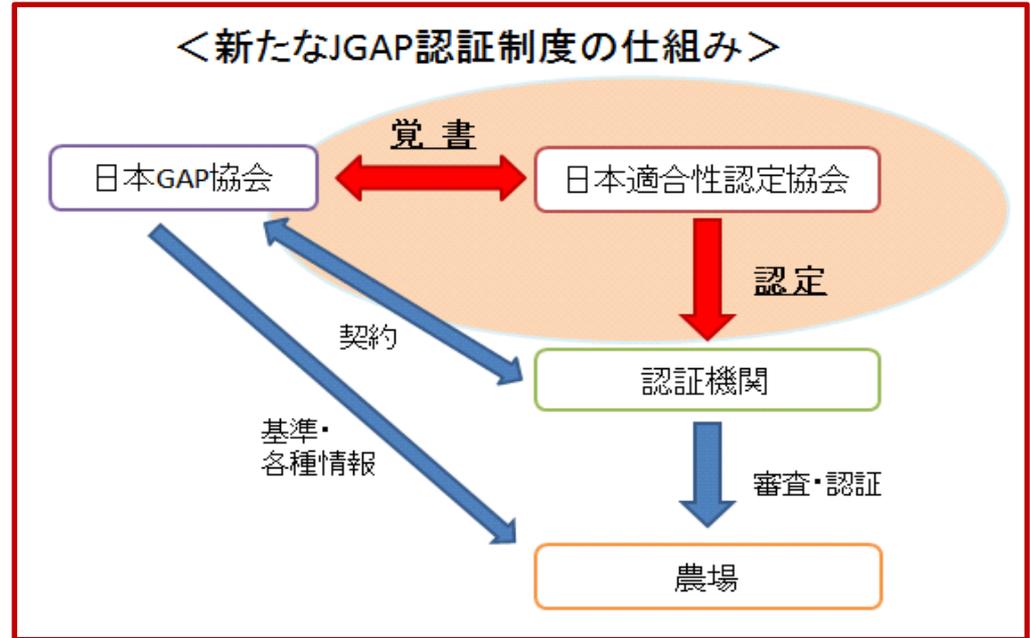
日本の農業者のフィールド
は東アジアへ

- 東アジアを中心とした海外への日本産農産物の輸出支援
- 東アジアを中心とした海外での日本の農業者による現地生産の支援
- 農業技術の国際交流促進や、国境を越えた産地リレー構築など支援
- 台湾事務所と香港事務所が主にサポート

- GAP戦略協議会への参画

- 輸出用GAP等普及推進事業の実施:「輸出用GAP(仮称)」の開発

- JAB認定への移行 (2016年度~)



- 9/10開催のシンポジウム「GAP Japan 2015 @東京大学」では、「第5回GAP普及大賞」と、「美しい農村づくりに向けたGAPの可能性」をテーマに開催

※ 詳細・申込は日本GAP協会HPへ！

GAPの最新情報は

→ 日本GAP協会メールマガジン 無料配信中

info@jgap.jpへ「メルマガ希望」とメール下さい。

私たちは信頼できる農場の目印“JGAP”を創っています。
まじめで意欲ある農場が正しく評価される社会を創ることが目標です。

一般財団法人 日本GAP協会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番29号 日本農業研究所ビル 4階

TEL: 03-5215-1112 / E-mail: info@jgap.jp / <http://jgap.jp>